

# 企業紹介

## 日本を代表する 電線製造機械のトップメーカー

SAIKAWA

株式会社 **サイカワ**

代表取締役社長 西川 正男  
〒945-1395 柏崎市安田田尻工業団地7586  
TEL(0257)24-4111 FAX(0257)23-1361  
URL <http://www.saikawa.co.jp/>

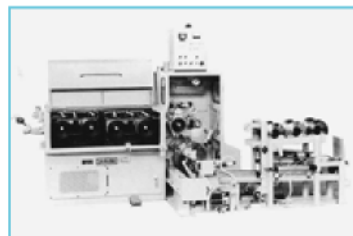
業 種：電線製造機械の製造  
資 本 金：6,235万円  
事業内容：各種貴金属線用の伸線機、電線製造装置、  
光ファイバーケーブル製造装置などの設計、  
製作、販売

電線製造機械のトップメーカーである(株)サイカワ。同社の伸線機は、クセのない電線を能率よく伸ばすことができ、最小で10ミクロン（1/100mm：髪の毛の太さの1/6）まで電線を引き伸ばすことが可能。最近では、マグネットワイヤーや各種通信ケーブルなどの銅線用伸線機に加え、半導体のICチップに組み込まれている金ボンディングワイヤー、プラズマテレビの製造に使われるステンレスワイヤーなど特殊な貴金属線向けの伸線機の需要が伸びている。

### 海外市場も視野に入れ、中国に合併会社設立

伸線機とは銅線などの貴金属線を細く伸ばす塑性加工機械であり、5円玉を厚くしたような形のダイス（中心の穴は入口が太く出口が細いテーパ形状になっている）に材料線を通し、引っ張り出すことにより、最小10ミクロンまで貴金属線を細く伸ばすことができる。

同社は1910年の創業、1935年に伸線機の製作を開始、以後70年余り、荒引伸線機から超極細線伸線機まで幅広い伸線機を製造し続け、現在は日本を代表する電線製造機械メーカーとなっている。また、海外市場も視野に入れ、97年には台湾の焼付機メーカーと技術提携をするほか、04年には中国で合併会社を設立し、大量生産が必要とされるマグネットワイヤーや各種通信ケーブル向けの伸線機を現地生産、コスト削減を図るとともに新市場の開拓も狙う。



▲銅線用伸線機 M-22 J

### 世界で9割のシェアを持つICボンディングワイヤー製造装置

「創業95年の歩みのなかで、伸線される貴金属材料は変化してきた」と西川社長は言う。日本の高度成長期には同社の売上の約8割を占めていたマグネットワイヤーや通信ケーブルなどの銅線用伸線機は、コストの安い中国などで製造され、現在は約3割にまで低下。その一方で、半導体のICチップに組み込まれる超極細の金ボンディングワイヤーや半導体ウエハーの切断に必要なとされるソーワイヤー、プラズマテレビなどの製造に使用されるステンレスワイヤーなど銅以外の特殊な貴金属線向けの伸線機は需要が伸びている。特に、伸線機、洗浄装置、調質装置、巻替機を取り揃えたボンディングワイヤー製造装置は、世界で9割のシェアを占める。



▲西川社長

### 長年の経験と積極的な技術開発で多数の特許を取得

同社では、長年の経験と積極的な技術開発で、折りたたみ式携帯電話等に使用される「スズメッキ銅平角線」を製造するために不可欠な圧延焼鈍装置など、多数の特許を取得。また、近年、撚線機や光ファイバー製造装置を製造するメーカーから全事業を継承し、同社の得意とする極細線製造装置技術の多様化も進められている。



▲スズメッキ銅平角線用伸線機